

だが、その快感を味わわせるためには、推理小説はつぎの三つの条件をそなえていなければならぬ。

(一) その謎は、当らずといえども遠からずという程度に、読者にもすこしは解決できるように提出されなければならぬ。

(二) 探偵の口をかりて説明する作者の解決は、誰にでもうなずける、完全に、決定的なものでなければならぬ。

(三) 推理の材料を読者にかくしてはならない。解決を説明するまえに、あらゆる持札を、全部正直にテーブルのうえに並べなければならぬ。

『ソーンダイク博士』序文』

オースチン・フリーマン 瀬尾韶夫訳